



平成29年度 公開授業一覧表 11月29日(水)

【お知らせ】 学部で授業の始まりの時間が違います。



小学部 知的教育部門 10:15~11:00

授業番号	教科名等	単元名	概要
40	国語	○絵本を読もう ○フラッシュカード ○これなんだ?~イラストクイズ~	ひらがな五十音を読める児童が4名、学習中の児童が2名である。1学期から、「文字を読む」ことを目標として、絵本やフラッシュカード、かるたに取り組んできた。自分の名前や友だちの名前の一部のひらがなを覚えて、正解できるひらがなの数が増えてきた児童もいる。本単元では、それぞれの実態に合わせ、2文字程度で構成された単語を選ぶ学習を行っている。知っている文字を増やし、本を読んだり、表示を見て動いたり、余暇や日常生活につなげていきたいと考えている。
41	国語	昔話を読もう	ひらがなの読み書きはできるが、スムーズに読む・話すことや集中して聞くことに課題がある児童が多い。2学期は昔話の単元に取り組んでおり、単元を通して「ゆっくりはつきり読む」ことや、「教師や友だちの話をしっかり聞く」ことに取り組んでいる。昔話という少し長い文を読むことで、文字を読むことや話を聞くことに重点を置き、日常生活での言葉によるコミュニケーションをより広げたいと考えている。
42	国語	これなあに?	日頃よく目にする食べ物や身の回りの物の名称をイラストや単語カードを選べるようになってきている児童たちである。本単元では、はてなボックスから選んだイラストや音声から、その名称に応じたひらがなを学んでいる。答え方は「書く」、「50音チップから選ぶ」、「マッチングをする」の児童それぞれの方法で取り組んでいる。VOCAペンを使用し、音声と文字を確認できるようにしている。現在は2文字のもの中心であるが、文字数を増やしていき、ひらがなの習得へとつなげていきたいと取り組んでいる。
43	国語	「辞書で調べてみよう」	文字を書くことが苦手な児童もいるが、好きなこと興味のあることには文字を書くことができる。わからないときに辞書でしらべる習慣を身につけるために今回の単元を設定した。主語、述語、助詞を正しく使う練習とイラストなどを見て説明する練習を繰り返して取り組んできている。
44	国語	詩や文を読もう 言葉を書こう	年度当初は、書くことへの自信のなさから消極的になることや、今までに文や本を読む経験が少なかったことから、読むことにも苦手意識があった。これらの課題を克服するために1学期から「お口の体操」や、短い詩の朗読を継続して行っている。また、プリント学習を積み重ねていることで、ひらがなの書き間違いなども少なくなってきた。本単元においても詩や文の音読を通して、自信をもって読めることや、書くことに対する苦手意識克服を目指している。
46	国語	「くまさんくまさん」 ○ことばさがしと簡単な文づくり ○動いてみよう	発達段階の幅は広く、ひらがなの文字を読める児童が4名、文字をまとまりでとらえている児童が1名である。単元「くまさんくまさん」では文部科学省発行のこくご☆本の「くまさんくまさん」を題材にして、ことば探しや文づくりに取り組んでいる。発表や動作化の活動を通して絵と言葉そして、動きを結びつけ、身近な言葉の定着をはかりたい。
47	国語	・絵本『かさ』 ・言葉と動作	年度当初は授業に取り組むことを課題とし、テレビを使って絵本を読むなど児童が集中できる環境作りを続けてきたことで、少しずつ教師や絵本に注目する時間が長くなってきている。本単元では教師の声かけ・言葉に応じることができることを課題として、実際に体を動かしながら関連する言葉とつなげていくことを目指している。
48	国語	「なになかな?」	50音をほぼ読むことができ、写し書きができてきている児童、なぞり書きができる児童、マッチングができる児童等と学習の差の大きい集団である。言葉での発語はできるので、一緒に発語する活動を多く取り入れるようにしている。メインの活動では、果物、野菜、道具等を袋の中に入れて「なになかな?」と形を触って考える活動を取り入れ、興味を持ちながら名称やひらがなにつなげる活動を行っている。(現在は野菜)
49	国語	「こえにだしてよもう」 「写真日記をつくって発表しよう」	ひらがなの短い文を読むことができ、簡単な言葉でのやりとり等はできるが、単語でのやりとりや、伝えたいことはあるが、整理できず、相手に伝わりにくい姿が見られる。これまでの学習の中で、定型文を活用しながら、発表の機会を設ける等の活動に取り組んできた。本単元では、自信を持って発表することにつなげるために読みの学習と、話す力や文を考える力等につなげるために、絵を見て文を作る活動に取り組む。学習を通して、自分の活動を通して、写真を手がかりに発表できるようにしたい。
50	国語	「言葉カードつりゲーム」	ほとんどの児童はまだ文字を読むことが難しいが、馴染みのある食べ物や身の回りの物の名称とイラストのマッチングができるようになってきている。本単元では、文字とイラストのマッチングを課題とし、魚釣りの要領で「文字カードを釣り、イラストとマッチングする」という活動を取り入れて学習している。また釣った文字を一文字ずつ復唱しながら確認し、発語が明瞭になるようにする。現在は2文字に限定しているが、文字数を増やしていきひらがなへの意識がさらに高まるようにする。
51	国語	「スイミー」	本グループでは、これまでの学習のなかで簡単な会話ができるため、友だち同士で順番を決めたり、自分の想いを発表したりする場面を設けてきた。本単元を通し、スイミーの気持ちの変化を考えたり、登場人物の様子(状況理解)を学習してきている。本時では、本文を手がかりにスイミーの仲間とスイミーが協力して1つの大きな魚になる場面をペープサートで表現できることをねらっている(状況理解・気持ち)。ペープサートを使用することで、友だち同士で自然な会話(気持ち)ができるようにしていきたい。
52	国語	「手紙を書こう」	ひらがなの読み書きの習得に差はあるが、全員が簡単な言葉でのやりとりができる。決まった場面や、繰り返し行う要求場面では、自分の気持ちを言葉で伝えたり、文字カードをヒントに気持ちを伝えることができる。写真での活動の振り返り(〜が〜をどうした。)などで事実を言語化、またはカードを使って文章化することはできるので、さらにその時の気持ちを表現することにつなげるため、気持ちの表現の学習を行った後、手紙を通して伝えたい相手に伝えたい気持ちを届けられるようにする。
53	国語	「くだもの、なになかな」	本グループは写真カードや簡単なイラスト、サインでやりとりをしている。見る力をつけるために、毎時間リズムに合わせて位置が変わるタンバリンを叩くという活動に取り組んでいる。本単元は果物の実物とイラストのマッチングを3択で選ぶ。果物の色を画用紙から選ぶ。「食べたい」「いらぬ」「甘い」「酸っぱい」などサインを促すなど、食べる活動を含み、直接的な要求など伝えることを学習している。

平成29年度 公開授業一覧表 11月29日(水)

【お知らせ】 学部で授業の始まりの時間が違います。

中学部 10:25~11:15

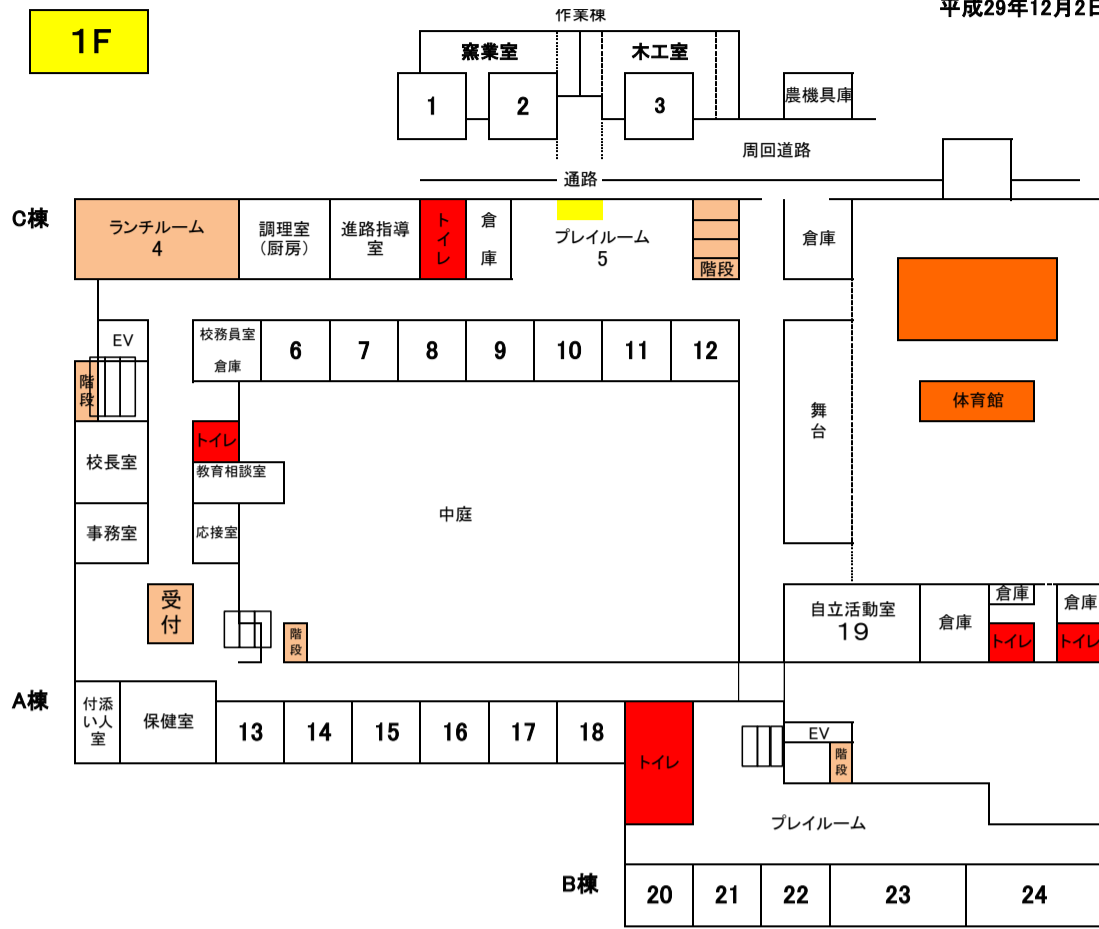


授業番号	教科名等	単元名	概要
20	国語	個別課題	知的教育部門と肢体教育部門の生徒の合同授業であり、実態にも幅がある。週2回ある国語のうち1回は集団で取り組む授業にしている。生徒の中には、表出が難しくても豊かな内言語を持っている生徒や、一問一答の形で相手とやりとりができる生徒がおり、この集団の中で生徒同士の会話の内容を広げたい、相手にできるだけ詳しく物事を伝えられるようにしたいという思いで、「写真を撮って伝えよう」という単元に取り組んでいる。また、週2回の国語のうちもう1回は、個々の実態にせまられるよう、個別課題に取り組む授業である(本時)。個別課題では、iPadなどのICT機器も用いながら、ひらがな学習や運筆、動作語、ものカテゴリー分けなどに取り組んでいる。
26	国語	「新聞作り」	自分の意見・考えに理由をつけて伝えること、集団でその意見を受け止めて1人ひとりに返していくことを大事にしている。この単元は、前単元の「スーパーマーケットの見学」の学習を経て、パン等を製造している施設を見学した後に取り組んでいる。見学先で見た、聞いた、知ったこと、施設が大事にしていることを、見る人が注目できる新聞にまとめ、校内に発信したいと考えている。「注目をひき、読みやすい新聞」を作成することを目標にして、グループ内で意見を伝え合うことを大事に取り組んでいる。
27	国語	「話してみよう」	文字の読みでは、ひらがなやカタカナは読めつつあるが逐次読みの生徒(生活上よく目にする漢字も少しは読める)、ひらがなの読みを練習中の生徒、発音は不明瞭だが、まとまり読みができる生徒がいる。書字に関しては、運筆練習をしている生徒が2名、ひらがなの練習をしている生徒1名、カタカナの練習をしている生徒1名である。本単元では、物語を聞いた後に、イラストを見ながらどんな話だったかを発表する活動を通して、音と文字、文字とイラストを繋げて、文字の獲得や語彙力の向上に取り組んでいる。また、「～が～した。」と話すことで、物語の概要を知ることに繋げたい。
31	国語	「ねぼうしたねこ」	本グループの生徒たちは、日常生活において様々な方法や適切な表現で相手に伝えることを重点的に取り組んでいる。日常生活の中で一問一答ができるようになるために、問われたことに対して回答できるように短い文章の読み取りを行っている。また、場面にあった挨拶や言語表現などを様々な単元を通して学習している。本単元でも文章内容を読み取る課題に取り組んだ。単元の後半では、場面に合った挨拶や宛名の書き方などを学習する予定である。
32	国語	大型紙芝居「あっちゃんのはたけ」 カタカナ 個別学習	本グループでは、日常生活に出てくることばや2語文、3語文の理解を中心に取り組んでいる。ひらがなについてはほぼ理解できてきているが、まだスムーズにことばを繋げて文にすることが難しいので、丁寧に絵本の音読やことばと絵本の場面のマッチングなどを行っている。カタカナについても少しずつ身近なものの名前を中心に学習を進めている。
33	国語	「校外学習の作文をつくらう！」	実態や課題に差があるため、国語科、数学科は、日頃は2つのグループに分かれて学習している。この単元では、学年で取り組んだ校外学習を題材に、5H1Wを使って文を作ることや体験したことを思い出し、順序だてて文章にすること、各グループで取り組んできた。本時は、作った作文をわかりやすく発表することや、生徒同士互いに感想や意見をやりとりすることを大切に組みたい。
38	国語	「スーパーマーケットの見学」	本グループの生徒は、簡単な言葉を駆使して意思や要求のやりとりをしている。話の内容を相手に推し量ってもらいながらの会話となることが多い。また、話し言葉の理解を助ける為に、日常的に文字や短文等の情報をあわせてやりとりしている。本単元では、イメージできる言葉を増やし文章を構成すること、文字情報の読み取りの力を高めることをねらいとし、日常生活に生かせることを目指したい。得意なパターンの認知をいかす教材を工夫し、長期記憶につながる理解を図っていききたい。
39	課題別学習	モビール作り	本グループの生徒は、興味や関心のある体操やセラピーボールでの運動を初めに行うことで、名前を呼ばれたら自分の番であるということ意識することができている。本単元では、物作りを通して教師とコミュニケーションを図りながら、日常生活で身近なものの名称とモビールの飾りが一致するように言葉を意識してつくることをねらいとしている。
55	国語	「こんなとき自分はどうするか」	本グループでは、ペア学習を少しずつ取り入れながら学習を進めている。ペアでの話し合いでは教師の支援がまだ必要ではあるが少しずつ話をして答えを出すことができつつある。将来困ったことに直面したとき自分で解決策を見つけて実行できる力を身につけられることを目指して、本単元では、身近で起こりうる困ったことにどう対応すればよいかについて対応策をペアで考える活動を行う。
57	国語	詩を書こう	本単元では、出来事や身近な物をイメージする力と自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝える力を養いたい。なぞなぞを通して言葉のイメージを膨らませ、その物の特徴をとらえて伝えるようにキーワードを考える。なぞなぞ問題はイメージしやすいように身近にあるものを用い、ヒントカードの提示を行う。また、なぞなぞの問題文と答えを前後に入れかえることで詩になることの面白さを気づかせる。

公開授業会場図

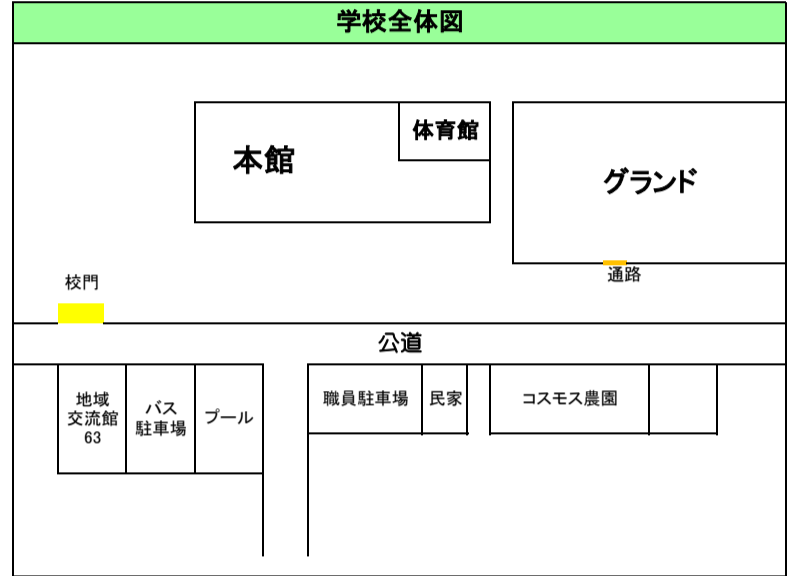
平成29年12月2日

1F

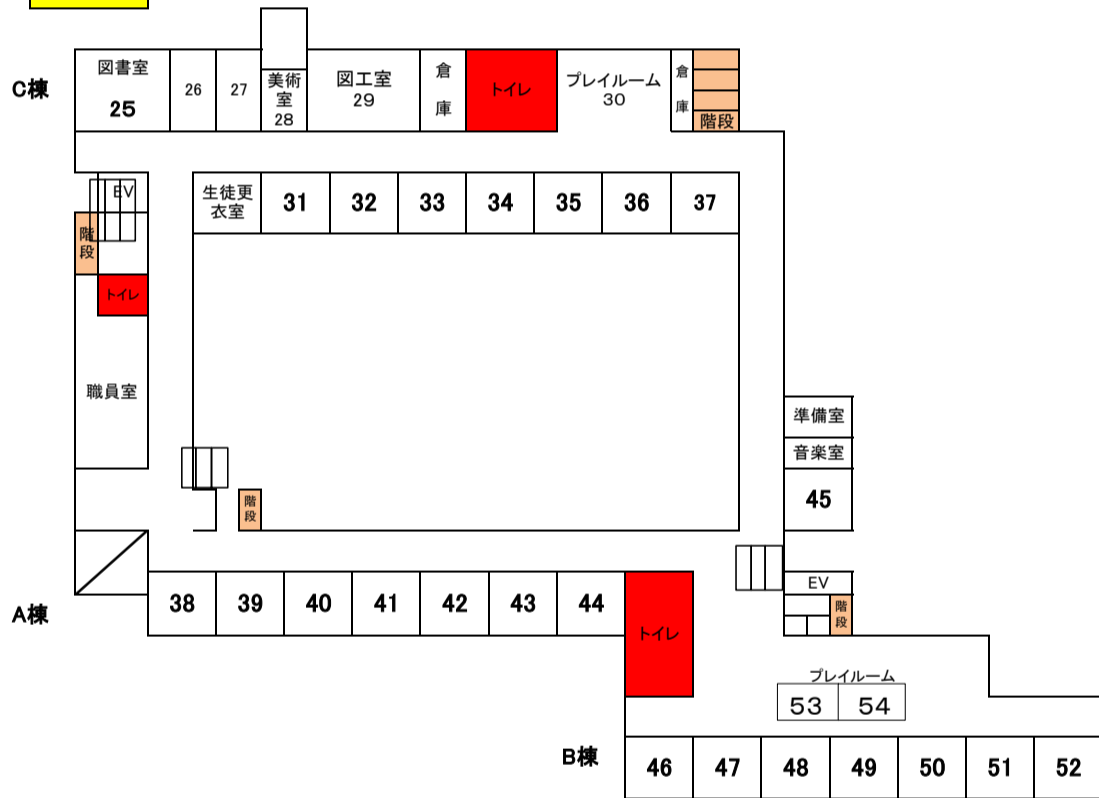


- 受付 階段 会議室 ランチルーム
- 小学部
- 中学部
- 高等部
- 体育館
- トイレ

学校全体図



2F



3F

